

令和6年度 事業計画

施設名 特別養護老人ホーム土浦晴山苑

所在地 土浦市田村町2321-5

所 管 事 業		定員	休業日
事 業 名	入所事業	70名	無
	短期入所事業	20名	無
	通所事業	30名	毎週日曜日

1 本年度特別養護老人ホーム土浦晴山苑の基本方針

- (1)当苑がこれまで培った幅広い営業基盤を最大限に活用しながら、持続的な稼働率の向上、収益を確保する。
 (2)令和6年度介護報酬改定に伴う処遇の改善を通じ、将来を見据えた人への投資を推進する。
 (3)経営基盤を強化するため、人員不拡大による少数精鋭・適材適所の人員配置を行う。
 (4)予算の執行に当り、最小の費用で効果を上げるよう常に計画かつ効率的な運用に留意する。

2 職員体制

事業所	職 種	常 勤	非 常 勤
管 理 者	施設長	1名	
	事務次長	1名	
特別養護老人ホーム (短期入所事業含む)	ケアワーカー長		
	生活相談員	2名	
	介護支援専門員		1名
	介護職員	31名	15名
	看護職員	3名	1名
	理学療法士		
	作業療法士		
	事務職員	2名	
	管理栄養士	1名	
	介護補助員		
	運転手・他	1名	7名
	洗濯職員		2名
居宅介護支援事業所	管理者（主任ケアマネ）		
	副管理者（主任ケアマネ）		
	ケアマネージャー		
通所介護事業所	管理者（施設長兼務）	1名（施設長兼務）	
	理学療法士	1名	
	生活相談員	2名（1名介護職兼務）	
	看護職員	3名	
	介護職員	4名	3名
	運転手・他		2名
訪問介護事業	管理者（サービス提供責任者兼務）		
	サービス提供責任者		
	ヘルパー		
合 計		51名	32名

3-1 事業名

令和6年度事業計画

入所事業

定員

70名

【本事業のミッション】

- (1)稼働率向上を図るため、関係機関との連携を強化する。（待機者の確保）
- (2)苦情解決のため迅速かつ適切な対応に努める。
- (3)ICT活用による業務負担の軽減かつ効率的に業務を遂行する。
- (4)ユニット間の緊密な協力体制を確立し、より能率的な業務遂行に努め、人員不拡大の方針を明確にしながら時間外勤務等の労務負担に配慮する。

【令和6年度の取組目標】

施設運営の根幹を成す特別養護老人ホームの稼働率維持、向上を図るとともに人材の確保において厳しい状況の中、ご利用者が住み慣れた当地域で安心して生活が送れるよう質の高いサービスの提供と地域福祉の発展に貢献する。

【重点目標】

◆目標利用率

	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度見込	令和6年度目標
入所	97.5%	96.4%	97.5%	97.6%

◆利用者支援サービスの充実

- (1)ご利用者一人ひとりの心身の状態について、職種間の連携を徹底し、日々の健康維持および疾病の早期発見に努める。
- (2)事故の防止・未然回避を図るため、リスクマネジメントを徹底する。また、事故発生時の対応について速やかに適切な対応を行う。
- (3)身体拘束のないケアの実現に向けた取組みを通じ、ご利用者の身体的、精神的な自立を維持し、尊厳を保つことができるサービスの提供に努める。

◆コンプライアンス計画

- (1)法人のコンプライアンス規程およびマニュアルに基づき、職員のコンプライアンス意識の再徹底を行い、法令違反、不正防止のための組織を作る。
- (2)当苑が担う社会的責任と公益的使命感を果たすため、健全で適切な施設運営を行う。

◆人材育成と職場環境の整備

- (1)受講した職員への波及、さらに講師を担当した職員の成長に繋げる施設内研修の機会を積極的に設ける。
- (2)作業環境管理・作業管理・健康管理の労働衛生3管理の面から検討し、職場環境の改善およびその防止対策を図りながら職場内環境の整備を進める。

◆財務基盤強化への取組

- ・経営を安定させるため、稼働率の維持、向上を目指し、利用者当たりの職員数を適正な水準にする。
- ・高齢者の住まいの選択肢が広がり、また、2028年まで高齢者人口が減少傾向にあるなか、より一層の利用者、待機者の確保に努める。
- ・加算への対応について、算定要件や算定のための人件費、提供するサービスの質の向上など様々な観点を考慮に入れながら、積極的に加算の算定に取り組む。

【施設・設備整備計画】

整備内容	整備時期	金額（千円）
PAS更新工事（地絡継電器付高圧気中負荷開閉器）	令和6年10月～11月	1,133

3-2 事業名

令和6年度事業計画

短期入所事業

定員 20名

【本事業のミッション】

- (1)多職種協働で利用者、ご家族への支援を通じ、様々なニーズに沿った介護サービスの提供に努める。
- (2)緊急時は居宅介護支援事業所等と連携を図り、柔軟かつ積極的に受入を行う。
- (3)併設の特養・通所との連携を緊密にし、ご利用者の利便性を図る。

【令和6年度の取組目標】

ご利用者の意志を尊重し、在宅での生活と当苑利用中の生活の継続性が維持されるよう、環境の整備に努め、さらにご利用者、ご家族との信頼関係の構築を通じ、ご利用者の満足度の維持、向上を目指す。

【重点目標】

◆目標利用率

	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度見込	令和6年度目標
短期入所	89.4%	62.9%	74.4%	87.5%

◆利用者支援サービスの充実

- (1)ご利用者一人ひとりの生活のリズムを把握し、意向に沿ったサービスを提供する。
- (2)利用期間中の施設生活の充実のため、環境の変化に伴う健康面や心身状態に対し適切に対応する。
- (3)ご利用者同志の関係性の構築により、リピート利用に繋がられるよう利用調整に配慮する。

◆コンプライアンス計画

- (1)法人のコンプライアンス規程およびマニュアルに基づき、職員のコンプライアンス意識の再徹底を行い、法令違反、不正防止のための組織を作る。
- (2)当苑が担う社会的責任と公益的使命を果たすため、健全で適切な施設運営を行う。

◆人材育成と職場環境の整備

令和6年の介護報酬改定により、安定した質の高い介護サービスの提供が求められている。介護保険をはじめとする諸法令等の専門的な知識の習得、技術向上ため、年間研修計画に基づいた施設内外の研修会に積極的に参加し、実践へのフィードバックを図る。

◆財務基盤強化への取組

- ・経営を安定させるため、稼働率の維持、向上を目指し、利用者当たりの職員数を適正な水準にする。
- ・高齢者の住まいの選択肢が広がり、また、2028年まで高齢者人口が減少傾向にあるなか、より一層の利用者、待機者の確保に努める。
- ・加算への対応について、算定要件や算定のための人件費、提供するサービスの質の向上など様々な観点を考慮に入れながら、積極的に加算の算定に取り組む。

【施設・設備整備計画】

令和6年度は実施の計画はありません。

3-3 事業名

令和6年度事業計画

通所介護事業

定員 30名

【本事業のミッション】

- (1)当苑のサービスを通じ孤立感の解消、心身機能の活性化、ご家族の介護負担の軽減等を支援する。
- (2)介護サービスは利用者やその家族が生活を送る上で不可欠であるため、感染症や自然災害が発生した場合も、継続的にサービスを提供することのできる体制を構築する。
- (3)体験利用者に体験前後のニーズの確認を行うとともに当苑の介護支援体制を明確に打ち出しながら本利用に繋げる。

【令和6年度の取組目標】

これまで以上に稼働率を上げるため、サービスについて原点回帰し、ご利用者、ご家族、居宅介護支援事業所と良好な関係を築きながら専門職としての知識と技術を活かし、美味しい食事、楽しいレクリエーションの提供に努め、「行って楽しい」・「預けて安心」の施設づくりを目指す。

【重点目標】

◆目標利用率

	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度見込	令和6年度目標
通所介護	72.5%	68.2%	78.2%	81.7%

◆利用者支援サービスの充実

- (1)施設の特徴が出やすいサービスの一つであるレクリエーションについて、多くのご利用者が余暇活動の楽しみや身体機能が維持できるよう工夫した内容を提供する。
- (2)様々な事情により食事内容に偏りが生じやすい高齢者に当苑の利用を通じバランスの取れた食事の提供に努め、また、減塩食、糖尿病食など持病を考慮した食事を提供や食べやすくするための食事形態を柔軟に対応する。
- (3)送迎業務、契約等の訪問業務時に使用する公用車の運転について、「福祉車両の装置操作を正しく使い、安全を確保する」・「交通マナーを守り、周囲に迷惑を掛けない」という高い意識を持つ。

◆コンプライアンス計画

- (1)法人のコンプライアンス規程およびマニュアルに基づき、職員のコンプライアンス意識の再徹底を行い、法令違反、不正防止のための組織を作る。
- (2)当苑が担う社会的責任と公益的使命を果たすため、健全で適切な施設運営を行う。

◆人材育成と職場環境の整備

- ・適宜業務手順の確認を行い、効率的かつサービスの質の確保に努める。
- ・職員の能力向上を図るため、専門性に偏らず幅広い視点で捉えるよう各種研修会への積極的参加を促進する。
- ・令和6年度も感染症対策の徹底を行う。定期的な実践研修を開催を通じ、クラスターが発生しないように標準予防策を徹底する。

◆財務基盤強化への取組

- ・経営を安定させるため、稼働率の維持、向上を目指し、利用者当たりの職員数を適正な水準にする。
- ・高齢者の住まいの選択肢が広がり、また、2028年まで高齢者人口が減少傾向にあるなか、より一層の利用者、待機者の確保に努める。
- ・加算への対応について、算定要件や算定のための人件費、提供するサービスの質の向上など様々な観点を考慮に入れながら、積極的に加算の算定に取り組む。

【施設・設備整備計画】

令和6年度は実施の計画はありません。